

について情報発信したところ、調理師専門学校から支援等の申出があった。これらの流れを特産品の開発や農と体験を結びつけた観光面での事業展開に広げたい。



**Q** ふるさとの原風景を維持するには、高倉の農地の維持が重要ではないか。

**A 産業振興課長** 耕作されず、管理だけの農地が増え、管理についても農家個人の負担では難しい状況となっている。営農で農地が維持保全され、収益につながるのが最善だが、現状では厳しい農地を体験農園として貸し出すなど様々な意見がある。1つずつ具体化していきたい。

## 一本松地区地区計画環境整備事業

**Q** E地区の道路整備の進捗状況は。

**A 道路建設課長** 31年度の事業完了に向けて努力している。しかし、私道などは、地権者が多く、全員と連絡を取ることが難しい状況であり、地権者の理解・協力も必要である。

## 公園施設長寿命化計画策定事業

**Q** 計画の方向性と今後の取組は。

**A 都市計画課長** 市内33の公園を適切なメンテナンスをしながら、長く機能を維持していく。公園全体として、安全確保のほか、バリアフリー化や空白エリアの解消などが課題。整備の際には、ワークショップを行うなど、市民参加で取り組む必要があると考える。また、改修や修繕の際にも、地元の方を交えて進めていく方向である。



公園の遊具

## 学校図書館資料ネットワーフ化推進事業

**Q** 事業完了後、学校図書館の利用はどのように変わるのか。

**A 学校教育課長** 蔵書がデータ化され、学校図書館と中央図書館との連携がよりスムーズになる。また、学校間の情報交換も可能になる。

## 災害対策事業

**Q** 在庫の防災ラジオの取扱いは。

**A 安心安全推進課長** 随時給付しており、9月の広報でも記事を掲載した。各避難所には1台ずつ配備しているが、災害時には情報ツールとなるほか、ライトとしても使用できる。保全として市役所である程度在庫を確保しておく必要がある。

## 心のオアシスづくり事業

**Q** さわやか相談員への相談件数といじめの相談の有無は。

**A 教育センター所長** 全体で延べ1643件。そのうち中学生の相談は約1300件で、25年度より約300件増加。いじめに関する相談は2件あったが、既に解消している。担任や職員及び管理職と連携し、早期に対応できている。

## 特別会計

### 国民健康保険

**Q** 退職者医療制度の今後は。

**A 保険年金課長** 27年3月末まで廃止となっており、経過措置として、現在の対象者が65歳に到達するまでは継続される。

## 後期高齢者医療

**Q** 今後の保険料の動向は。

**A 保険年金課長** 来年度からの保険料率の改定が想定されるが、まだ、具体的な内容は示されていない。

## 介護保険

**Q** 第6期保険事業計画はどこで審議され、地域包括ケアシステムはどのように構築されるのか。

**A 高齢者福祉課長** 医師、歯科医師、介護保険施設等関係者、社会福祉団体関係者、民生委員、地域の活動団体関係者及び3人の公募者で構成される介護保険運営審議会で審議された。現在、本市の特性に合った地域包括ケアシステムの代が75歳以上となる2025年に向け、介護予防・日常生活支援総合事業、在宅医療介護連携の推進、認知症対策の推進、地域ケ

ア会議の充実及び生活支援体制の整備を行う。

介護予防・日常生活支援総合事業については、来々4月からの実施に向けて準備を進めているところである。



## 一本松土地区画整理事業

**Q** 工事請負費6383万9988円の内容と全体の事業の見込みは。

**A 区画整理課長** 下水道工事、道路築造工事のほか、整地工事、防犯灯の移設工事などを行ったものである。31年度末の事業完了に向け、権利者の合意形成などを図りながら工事などを進めていきたい。

特別会計決算	
<b>国民健康保険</b>	
歳入	79億9793万円
歳出	76億1982万円
<b>後期高齢者医療</b>	
歳入	5億144万円
歳出	4億9824万円
<b>介護保険</b>	
歳入	31億3712万円
歳出	29億7556万円
<b>一本松土地区画整理事業</b>	
歳入	2億2944万円
歳出	1億9236万円
<b>若葉駅西口土地区画整理事業</b>	
歳入	3億8417万円
歳出	3億5793万円